

みなみ

本年度の学校評価について

教頭 上山 昌秀

余寒の候、保護者ならびに地域の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育の推進につきましまして、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度も残すところあと一ヵ月ほどとなり、一年の締めくくりをする時期となっております。

本年度は、「笑顔と瞳輝く学校に、心を極めろ」のスローガンを掲げ、教育活動を展開してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症に振り回され、私たちがこれまで経験したことのない一年でした。四月、学校が始まってすぐに二カ月の臨時休業。感染症対策を常に意識した学校生活。教育委員会から指導を仰ぎながら、学校の「新しい生活様式」に則り、本年度の教育活動を進めてまいりました。心配された学習内容の履修等の進捗状況は、夏休みの短縮や学校行事の中止・縮小、教職員の出張削減などにより、現時点でほぼ昨年度並みとなっています。このたび、本年度の教育活動を振り返り、来年度の取組に活かすべく、「学校評価」を行い、自己評価をしました。その内容を抜粋して報告させていただきます。

本年度の学校評価に向けて、十二月初旬に生徒・保護者・教師を対象とするアンケートを実施しました。そして、アンケートの集計結果をもとに、さらに、実践記録や生徒や教職員の感想・反省などから、次のように、五つの観点ごとに本年度の成果と課題について分析し、改善策を協議し、来年度への取組の基盤づくりをしました。



令和2年度
第10号

校訓

- ☆励みあう生徒
- ☆鍛えあう生徒
- ☆磨きあう生徒

(一)「確かな学力の育成」について

【分析】
・家庭学習について、充実させようと努力している生徒は多いが、「学習した成果がなかなか結果に表れない」とか「学習時間が短い」などから、評価が低い傾向にある。また、学校では「読書タイム」や「昼休み」に熱心に取り組んでいる生徒が増えてきたが、家庭での読書の時間を十分に確保できている。

・約二カ月の臨時休業により、年間カリキュラムを組み直す必要が生じたり、感染症対策のために、学習活動にも制限がかかったりしたこと、主体的な学習活動が十分にできなかったのではないかと。



【改善の方策】

- ・南タイムの充実を各学年ごとに図り、場合によっては、習熟度別にプリントを作成するなど時間の有効活用を行う。
 - ・課題の出し方を工夫するとともに、自主学習ノートにより家庭学習の定着を図る。
 - ・PTA活動や生徒会活動と連携し、図書室の整備や読書量の向上を図る。
 - ・新学習指導要領に沿った各教科ごとの研修をさらに図り、授業改善を進めていく。
 - ・通信やHPの充実を図り、学校や学年・生徒会の取組が保護者や地域に伝わるよう工夫する。
- (二)「豊かな心の育成」について

【分析】

・本校の教育の基盤が「人権教育」にあることを生徒、保護者、教師とも認識し、「一南家族」「いつも隣の人のことを考えよう」を合言葉として、人権意識の向上に努めている。

・学校行事においては、中止にしたり規模を縮小したりせざるを得なかったが、そんな中で工夫を凝らしながら実施し、一定の達成感や満足感を得られた。また、部活動も活動を大きく制限されたが、部活動をおして人間力の向上も見られた。

【改善の方策】

- ・来年度も年二回以上の講師を招聘した授業研究会や研修会を行い、道徳教育・人権教育の充実を図っていく。
- ・特別支援教育の校内研修会を年一回以上実施するとともに学期に二回以上は校内委員会を開催し、職員の協働体制を充実させる。
- ・今後も生徒との意思疎通や保護者との連携を大切にしながら、豊かな心を育む学校行事や部活動の充実を図る。

(三)「健やかな体の育成」について

【分析】
・総じて、「早寝早起き朝ごはん」が各家庭で実践され、地域でも校内でもさわやかな挨拶が交わされている。しかし、朝ごはんを食べてこない生徒や、深夜おそくまでSNSやゲームをしている生徒がいるので、指導や支援が必要である。

・リズムジャンプを継続して体育の授業の準備運動で実施しており、さらに授業で行う種目と関連させて行っているため、技能はもちろん柔軟性や敏捷性などが向上している。

【改善の方策】

- ・毎朝の健康チェックの改善を行い、基本的な生活習慣や保健衛生の徹底を図る。
- ・来年度も感染症対策を徹底しながら、家庭科での給食調理実習や食に関する授業を推進していく。
- ・本校の伝統・特色となったリズムダンスやリズムトレーニングを来年度も取り入れ、基礎体力の向上を図る。
- ・感染症対策の徹底を含め、学級指導だけでなく生徒会活動とも連携し、健康相談や保健指導の充実を図る。



(四)「特色ある学校づくり」について

【分析】

・生徒は、生活環境である校舎をきれいに扱い、黙動清掃を毎日行っている。花いっぱい運動やリサイクル活動(アルミ缶回収)などから、環境への意識は高いと言える。

・特色ある学校づくりとして、地域人材を活用した「ふるさと講座」や「小中一貫教育の推進」なども園との交流」に取り組んでいるが、本年度は感染症拡大により、十分な取組ができなかった。

【改善の方策】

- ・トライやる・ウィークの事前・事後学習や「ふるさと講座」に地域人材等を活用し、キャリア教育や進路指導の充実を図る。
- ・学習規律や学習方法の共同研究を通じて小中一貫教育の推進を図る。
- ・六年生の中学校体験やこども園との交流会を小学校やこども園との連携を図り、より充実したものに改善する。
- ・花壇の花の入れ替え、アルミ缶回収、「ふるさと講座」等の行事をおして環境教育の充実を図る。

(五)「安全・安心の学校づくり」について

【分析】
・登校時、下校時ともに手分けをして交通安全指導を行っている。また、保護者や地域の声に対しても、すぐに指導に反映させることができた。また、危機管理体制の構築について、感染症対策も含め、教師自身が意識を高くし、生徒に伝え、考えさせていく必要がある。

・教育相談の充実について、本年度は、生徒の学校生活の様子を見ていただいたり、保護者とじっくり話をする機会が少なかった。また、普段の生活から、生徒が教師に悩みや不安を相談しやすい雰囲気づくり、人間関係づくりをしていかなければならない。

【改善の方策】

- ・交通安全教室は、四月当初に実施するとともに、登下校指導を徹底し、年間を通じて安全な登下校の確保に努める。
- ・様々な状況下での防災訓練を実施するとともに、講師を招聘した防災教育の充実を図り、日頃より防災についての意識を高める。
- ・教員を対象とした様々な状況を想定した訓練を年三回は実施し、危機管理体制の構築に努める。
- ・家庭との連携・連絡を密にするとともに、年一回は学年懇談会を開催し、日頃の悩みを共有できる場を設ける。

これらの学校としての自己評価は、今後、委嘱している地域の学校評議員や学校関係者評価委員の皆さまに見ていただき、ご指導やご助言を賜ることにしています。そして、全教職員で再検討し、次年度への教育活動に反映させていきたいと思っております。今後とも、本校の教育推進に、さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

※学校評価の自己評価は、本校のホームページにも掲載しております。

「1・17 ひょうじ安全の日」について考える

二年一組 ■■■

毎年一月十七日になると新聞やニュースで、「阪神・淡路大震災」について多く報道されています。その中には、その当時の映像などが流れています。その度に災害の恐ろしさを知らされます。僕たちは毎年この日が近くなると避難訓練をします。新聞では震災時に小学六年生が一年生の手を引いて屋上へ逃げる避難訓練が役に立ったというニュースが取り上げられていました。この記事を見て、日頃からの備えがどれだけ大切かが分かりました。なのでこれからは今まで以上に真剣に避難訓練に取り組んでいきたいです。新聞に「震災を知らない人が学び、知らない人に伝えていくことがこれからの未来に地震が起こった際、自身を守り、大切な人を助けられる人を増やすことにつながる。」という文がありました。僕はこのことを日々心がけて生きていきたいと思いました。また大人になってもこの震災の記憶を受け継いでいきたいです。

二年二組 ■■■

今年、阪神・淡路大震災から二十六年が経つそうです。私の祖母と母も当時、神戸に住んでいたのだから、被災者です。だから、震災の事は母からたくさん聞きました。思い浮かべただけでも怖いですが、どう言葉で表せば良いか分からないほど揺れと被害がすごいです。私は、まだ大きな地震を経験したことがありません。だから、地震が本当に怖いと思います。この阪神・淡路大震災を経験した方たちにも、きっと私たちが以上に地震を恐れている方が多くいると思います。地震は多くの人の命と笑顔を一瞬にして奪ってしまいます。いつ起こってもおかしくない、いつ起こるか分からない状況だからこそ日頃から備えておくことが大切です。一人一人の意識づけが、より多くの命が救われることにつながっていくと思うので、この「1・17」は悲しい出来事ではありますが、私たちに色々と教えてくれる大切な日でもあると思います。私は、慰霊と復興のモニメントやルミナリエを実際に見に行ったりすることがあります。これには、いろいろな人の想いがつまっていることを初めて知りました。私は今年いろいろな人からいろいろな話を聞いて、改めて地震について深く考えることができました。私たちに伝

新春校内ペタンク大会

えてくださった方々に感謝して、今度は私たちが次の世代へと伝えていきたいと思っています。今の神戸は跡形もなかったように活気に満ちあふれ、当時を思い浮かべることができません。神戸の復興には本当に多くの人が携わり、長い年月がかかったと思います。だから、もうこれ以上、人々の努力と笑顔を奪ってほしくありません。私はそう願うばかりです。明日も明後日もその先もずっと「行ってきます」と「ただいま」という言葉を大切にしていきたいと思いました。

【ペタンク大会を終えて】

一年一組 ■■■

今日、ペタンク大会がありました。ペタンクは一回の相手は三年生の人たちでも上手くて一回も勝てませんでした。僕のミスもあってしまいました。バックスピンをかけるのと良いと説明の時に言っていたので、かけようとしたら全然かからなくて難しかったです。三回試合をして最後の試合で僕は結構いい感じに投げる事ができました。だけど、相手が最後に投げたボールがビュッとの近くについて逆転負けしました。一回しか勝てなかったけど、とても楽しくできて良かったです。

一年一組 ■■■

今日は、五・六時間目にペタンク大会がカルタ大会のかわりにありました。私はペタンクをあまりやったことがなかったけど、思った以上に難しく、おもしろかったです。特に力の入れすぎで、場外になってしまったりが多く、その調節が難しかったです。私のチームは、何度か三年生チームと戦いましたが全敗でした。でも、一セットだけ取れたのがとてもうれしかったです。今回はコロナウイルスの影響もあってカルタ大会からペタンク大会になったようですが、ペタンクもすごく楽しかったので来年もやれたらいいなと思いました。それに、新執行部の人も開会式の時に、分

かりやすく動きながら説明して下さったので、より楽しめたと思います。三年生との楽しい行事もこれで最後だったかもしれないけど、とてもよい思い出になりました。

三年一組 ■■■

ペタンクをするのは、小学生以来だったので、すごく楽しめました。私たちのチームは六セットして五セット勝ちました。結果的にリーグ優勝できて嬉しかったです。ボールを投げる時に、手加減するのがとても難しかったです。でも、段々やっていくうちにコツがつかめてきて上手くできるようになりました。二時間があつという間に終わって、三年間で最後のクラス対抗の行事で優勝できて本当に良かったです。最後に良い思い出ができました。

三年一組 ■■■

今日の新春ペタンク大会を終えて、僕はペタンクを初めてやってみて最初は簡単だと思っていただけ、いざやってみると意外と難しく楽しかったです。回数を重ねていくごとにだんだんコツをつかむことができました。僕たちのチームは二勝一敗と勝ち越すことができて良かったです。最終的には三年生が優勝できたので、最高の思い出ができました。

【二年生ペタンク大会川柳】

- 一年一組 ■■■
- 三年生 ペタンク初心者 うますぎだ
- 一年一組 ■■■
- ペタンクで ボール止まらず コロコロコロ
- 一年一組 ■■■
- ペタンクで ラスト一球 逆転勝利
- 一年一組 ■■■
- 投げるとき 力入れすぎ 場外へ
- 二年一組 ■■■
- ペタンクで みんなうますぎ 腰抜けた
- 二年一組 ■■■
- ペタンクで 新たに絆 深まった
- 二年一組 ■■■
- ペタンクは 楽しめたけど 全敗だ
- 二年一組 ■■■

表彰の記録

校内書き初め会

第一学年 「将来の夢」	銅賞	銀賞	金賞
第二学年 「理想の実現」	銅賞	銀賞	金賞
第三学年 「勇気ある前進」	銅賞	銀賞	金賞



行事予定

- 二月
- 16日(火) 県内公立推薦・特色選抜入試 ノー部活動デー
- 17日(水) PTA本部役員会・理事会
- 18日(木) 耳鼻科検診
- 22日(月) ノー部活動デー
- 24日(水) 三学期期末テスト(26日)
- 三月
- 4日(木) 三年生を送る会
- 10日(水) 卒業証書授与式
- 12日(金) 公立高校学力検査・19日発表
- 一・二年生一南テスト